

公益社団法人 日本地下水学会
2015 年度 第5回 理事会議事録

1. 開催日時：2015 年 8月8日（土） 13:30～18:10
2. 開催場所：日本工営(株) 新麹町オフィス 6F 会議室
〒102-0083 東京都千代田区麹町4 丁目2 番地
3. 理事総数：15 人

4. 出席理事数：13 人

○：出席、×：欠席

理事	今村 聡	×	理事	今井 久	×
理事	小野寺 真一	○	理事	川端 淳一	○
理事	高坂 信章	○	理事	坂本 大	○
理事	白石 知成	○	理事	杉田 文	○
理事	鈴木 弘明	○	理事	竹内 真司	○
理事	谷口 真人	○	理事	徳永 朋祥	○
理事	中川 啓	○	理事	中屋 眞司	○
理事	古川 正修	○			

5. 出席監事数：2 人

監事	平山 光信	○	監事	村田 正敏	○
----	-------	---	----	-------	---

6. 議長の氏名：代表理事（会長）谷口 真人

定刻に、代表理事谷口 真人 は議長席につき、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、13時30分本理事会の開会を宣した。

7. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名：該当する理事はいない。

8. 議事録作成者：理事 中川 啓

9. 理事会資料

- 理事会資料－ 1：2015年度 第5回理事会 議事次第 2015年8月8日
- 理事会資料－ 2：2015年度 第4回理事会議事録（案）
- 理事会資料－ 3：企画委員会資料
- 理事会資料－ 4：行事委員会資料
- 理事会資料－ 5：渉外委員会資料
- 理事会資料－ 6-1：編集委員会資料
- 6-2：構成表（57巻3号）
- 理事会資料－ 7-1：調査研究委員会資料

7-2：学会誌地域DB説明用資料

理事会資料－ 8：市民コミュニケーション委員会資料

理事会資料－ 9：広報・IT委員会資料

理事会資料－ 10：EPS委員会資料

理事会資料－ 11：技術者継続教育担当からの資料

理事会資料－ 12-1：会計委員会資料

12-2：年間購読料照会票

理事会資料－ 13：欠番（表彰委員会資料なし）

理事会資料－ 14-1：総務委員会資料（EPS研究助成ファンドの考え方）

14-2：委員会メンバー表

14-3：学会周知方法

14-4：学会パンフ修正案

14-5：英字会員証明発給申請書＋英字会員証明書（案）

14-6：入会-退会リスト

14-7：沖縄奨励賞

理事会資料－ 15：その他（日本工営(株)本社建て替えに伴う仮移転について）

審議に入る前に、前回議事録について、一部修正の後、確定することとした（資料-2）

【審議事項】

第1号議案：（資料-4）

- ・ シンポジウムなどの謝礼の支払い規則について
行事委員会から、シンポジウムなどの謝礼の支払い規則について議案が出された。理事会審議の結果、謝礼金額に関する件以外は、行事委員会でとりまとめた確認案で運用することで承認された。謝礼金額については謝金等支給規定に沿って実施することとした。

第2号議案：（資料-8）

- ・ 湧水めぐり（君津 10/4）における支出項目変更について
市民コミュニケーション委員会から、湧水めぐりにおける支出項目変更について議案が出された。理事会審議の結果、マイクロバス 2 台で承認されていたことは、大型バス 1 台とすることが承認された。一方 NPO 等協力団体への謝礼については、各団体の活動内容、今回ご協力いただく内容と金額について、確認の後、メール審議にて決定することとした。
- ・ 出前講演対応講演者推薦について
市民コミュニケーション委員会から、静岡県への出前講演対応講演者推薦について議案が出された。理事会審議の結果、産総研の丸井氏に問い合わせることとなった。

第3号議案：（資料-10）

- ・ 若手研究者の支援策について
男女共同参画(EPS)委員会から、若手研究者の支援策について議案が出された。理事会審議の結果、年間 50 万で 2 人程度採用とし、用途については特に定めない。審査方法は講演要旨投稿の

際に申請書類も送付し、講演会において口頭発表を行い、それをヒアリング審査とすること、同時に書類審査も行うことで、承認された。この事業の実施については、公益社団法人の事業の追加申請について、内閣府に8月中に総務委員会から問い合わせることとなった。これに応じて実施スケジュールを検討したところ、秋ごろ本制度の予告を行うこととなった。若手優秀講演賞との棲み分けとして、春と秋の講演会で分ける案が出た。実際の申請書の書式など委員会で検討することとなった。

第4号議案：(資料-11)

- ・ ジオスクリーニングネットへの掲示及び受講証明書発行に係る基本方針について
技術者継続教育委員会から、ジオスクリーニングネットへの掲示及び受講証明書発行に係る基本方針について議案が出された。理事会審議の結果、1)～4)は委員会案で運用することで承認された。ただし、5)の受講証明書の発行については、登録書式をイベントごとに講習会などの資料と一緒に配布することで対応することとした。

第5号議案：(資料 12-1)

- ・ 準会員の会員資格喪失処分について
会計委員会から、準会員の会員資格喪失処分について議案が出された。理事会審議の結果、平成25～27年度分の会費未納者2名を会員資格喪失処分とすることで承認された。

第6号議案：(資料 12-2)

- ・ 次年度からの学会誌の年間購読料について
来年度以降も年間購読料を税込9000円とするものの議案が出され、理事会審議の結果、承認された。

第7号議案：(資料 14-1)

- ・ ESP委員会からの提案である若手研究者助成基金の考え方について
総務委員会から、若手研究者助成基金の考え方(捻出の仕方)について議案が出された。理事会審議の結果、今後寄付金などの財源の確保について検討することとなった。

第8号議案：(資料 14-6)

- ・ 総務委員会から、新入会者について以下の承認が求められた。理事会審議の結果、承認された。
 - 新正会員 : 19名
 - 準会員より正会員 : 0名
 - 準会員 : 3名
 - 特別会員 : 1社
 - 退会者 : 3名

第9号議案：(資料 14-7)

- ・ 沖縄研究奨励賞の推薦応募について
総務委員会から、沖縄研究奨励賞の推薦応募について議案が出された。理事会審議の結果、学

会メールリストおよびホームページ上で案内することで承認された。

議事の最後に谷口会長から、今後2つのWGを立ち上げることが報告された。

- ・ 水循環基本計画のWG、委員長以下、構成は検討中である。
- ・ 地下水学会の将来検討WG、地方行政と学会がどのように協働していくか、国際機関とどういふふうに協働していくか、人材育成、これから10年くらい先までを検討するWGで今年度中に案を出す。委員長は徳永副会長。

【報告事項等】

1. 企画委員会（資料-3）

- ・ シンポジウム「地下水の保全、涵養および利用に関する法制化に向けた現状と課題」（主催，7/4，参加者 134 名）および「我が国の水政策の将来-水循環基本計画の光と影-」（共催，7/29）について、報告された。
- ・ 講習会「地下水シミュレーション（入門）」（8/6,7，参加者 21 名）および「現場調査（水文調査）」（10/8,9）について、報告された。
- ・ セミナー「東京電力福島第一原子力発電所事故による周辺水環境への影響-現状と課題-」の開催検討状況（11/24 13:00～に決定）について、報告された。理事会で審議し、タイトルを上記のように決定した。
- ・ シンポジウム「水循環基本法と地下水（仮）」（年明け頃）の開催検討状況について、報告された。
- ・ 7/4 シンポジウムに関する学会誌の特集（9 月末原稿締切）および企画委員会の開催状況について、報告された。
- ・ シンポジウムの方向に関連して谷口会長から、学会での一連の取り組みおよびフォローアップ委員会等の動向・課題について、7/4・7/29 シンポジウムや 8/8 水循環基本法 WG（第 3 回）までの報告がされた。学会としての取り組みとして、1) 学術的に文書を残しておく意味合いから、法律について専門家に特集号で書いていただく、2) 水循環基本法への対応として、調査・モニタリング、人材育成などについての学会としてのガイドライン作成のため、WG を立ち上げたい、ということが提案された。
- ・ 地下水保全法案（地下水学会案）を公表することについての議論があった。法律の専門家に書いてもらう特集号と併せて公表してはどうかという案などが出された。基本法の WG など、公表の仕方を検討することが提案された。

2. 行事委員会（資料-4）

- ・ 2015 年秋季大会における若手セミナー案（10/22 午前中）が報告された。
- ・ 2016 年以降の秋季大会の場所、開催日、実行委員長などの案が報告された。

3. 渉外委員会（資料-5）

- ・ 地球惑星科学連合の 2016 年度プログラム委員として林先生（秋田大学）および杉田先生（千葉商科大学）を登録したことについて報告された。
- ・ NGWA のイベントに本学会会員が会員価格で参加登録する方法について報告された。

4. 編集委員会（資料-6）

- ・ 2015年度第57巻第3号の構成について報告された。

5. 調査・研究委員会（資料-7）

- ・ 提案型研究グループ募集についての今後の進め方について報告された。
- ・ 研究グループ活動「地下水流動解析におけるV&V対応の課題抽出研究グループ」の活動について報告された。
- ・ 昨年度終了したグループ活動「地球温暖化と地下水の水資源評価に向けた課題抽出研究グループ」については、秋季大会にてディスカッションセッションを開催して活動成果報告とすることを計画されていることが報告された。

6. 市民コミュニケーション委員会（資料-8）

- ・ 委員会の実施および予定について報告された。
- ・ 湧水めぐり（君津）について君津市広報紙で案内されたことの報告があった。

7. 広報・IT委員会（資料-9）

- ・ 委員会の実施および活動状況について報告された。
- ・ 2015年7月のHPアクセス状況について報告された（全体:6512回，新規/再:69.3%/30.7%，国別：国内88.04%，アメリカ3.32%，合計61か国およびその他）。

8. 男女共同参画委員会

- ・ なし

9. 技術者継続教育担当（資料-11）

- ・ ジオスクリーニングネットで予定している講演会等の行事、CPD登録申請状況およびJABEEの審査員講習についての報告があった。
- ・ 技術者継続教育委員会から、「整理番号2015-03」および「整理番号2015-04」の受講証明書発行について学会ホームページで案内を掲示し、フォローアップすることについて報告があった。

10. 会計委員会（資料-12）

- ・ 8/5現在の会員数および会費納入状況が報告された。

11. 総務委員会（資料-14）

- ・ 各委員会メンバー構成について、総務委員会から、各委員会メンバー構成表について示された。各委員会でヒアリングして、今後のメンバー構成について検討していただくこととなった。
- ・ イベント等での日本地下水学会の周知方法について、総務委員会から、イベント等での日本地下水学会の周知方法、パンフレットについての委員会案が示された。パンフレット案については、9月中に理事会内から意見を徴収することとなった。
- ・ 英字会員証明発給申請書および英字会員証明書（案）について委員会案が示され、理事会内か

ら意見を徴収することとなった。

12. その他（資料-15）

- 日本工営(株)本社建て替えに伴う仮移転について
仮移転に伴い、新麹町オフィスの会議室が9月から使用できなくなるため、仮移転先において会議室（第1中会議室）を仮押さえされていることが報告された。
仮移転先：東京都千代田区九段北1-14-1 九段坂上KSビル
- 受託研究について
事務局から産総研からの受託研究について報告があり、内容については、調査・研究委員会および会計委員会で目を通したうえで、入札の内容について理事会でメール審議することとした。

12. 今後の予定

2015年度 第6回理事会

日時：2015年10月17日（土） 13時30分

場所：日本工営(株) 本社仮移転先 第1中会議室（4階中庭棟）

東京都千代田区九段北1-14-6 九段坂上KSビル

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は18時10分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し代表理事及び監事が次に記名押印する。

2015年10月17日

公益社団法人日本地下水学会 理事会

代表理事：谷口 真人



監 事：平山 光信



監 事：村田 正敏

